

# 患者の皆様へ

2020年1月1日  
眼科

現在、眼科では、「Werner 症候群における眼所見の光干渉断層（OCT）による検討」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では（2015年3月～2019年12月に内科及び眼科に通院歴のある Werner 症候群と診断された患者さん、2015年3月～2019年12月に眼科に通院歴のある白内障・ドライアイ・結膜炎などの前眼部疾患の患者さん、2020年1月～2022年3月に白内障・ドライアイ・結膜炎などの前眼部疾患で同意が取得できた方）の診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

## 1. 研究課題名 「Werner 症候群における眼所見の光干渉断層（OCT）による検討」

**2. 研究の意義・目的** Werner 症候群は、常染色体劣性の遺伝性疾患で、20歳台より、様々な老化兆候が出現する代表的な「早老症候群」の1つです。加齢変化は、白内障だけでなく、網膜や脈絡膜にもみられることが予想され、網脈絡膜の構造変化を光干渉断層計で測定し、正常人と比較検討することにより、網膜構造・血管構造を含めた眼組織の加齢メカニズムの解明に迫ります。将来的には、老化の進行度を簡便かつ非侵襲的・客観的に示すことができる新しい老化マーカーの確立を目指します。

## 3. 研究の方法

2015年3月～2019年12月に内科及び眼科に通院歴のある Werner 症候群と診断された患者さん、2015年3月～2019年12月に眼科に通院歴のある白内障・ドライアイ・結膜炎などの前眼部疾患の患者さん、2020年1月～2022年3月に白内障・ドライアイ・結膜炎などの前眼部疾患で同意が取得できた方において、電子カルテ診療録に記載されている病歴、身長、体重、OCTで撮影された画像を、解析ソフトウェアを用いて、白内障、ドライアイや結膜炎などの前眼部疾患で網膜が正常である患者さん（control 群）と違いを統計学的に解析することにより早老症の代表的疾患である Werner 症候群の早期診断法を確立し、早期治療への手助けとなることを目指しています。

#### 4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院眼科学教室の鍵のかかる保管庫で保管します。

#### 5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。下記窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

**研究実施機関** : 千葉大学医学部附属病院眼科

**本件のお問合せ先** : 医学部附属病院眼科

医師 横内裕敬

043(222)7171 内線5325